

高砂市総合運動公園スポーツ施設の整備に関する方向性

令和6年9月

高砂市

高砂市総合運動公園スポーツ施設の整備に関する方向性

目次

第1章	総合運動公園スポーツ施設のあり方について……………	1
1	背景と目的 ……………	1
2	基本的な考え方 ……………	1
第2章	総合運動公園スポーツ施設の現状……………	2
1	高砂市陸上競技場 ……………	2
2	高砂市野球場 ……………	3
3	高砂市テニスコート ……………	3
4	相撲場 ……………	4
5	高砂市総合体育館 ……………	4
6	サブグラウンド ……………	5
第3章	総合運動公園スポーツ施設の利用状況の推移……………	5
第4章	総合運動公園スポーツ施設の運営状況……………	8
第5章	総合運動公園スポーツ施設の課題……………	8
1	高砂市陸上競技場 ……………	8
2	高砂市野球場 ……………	8
3	高砂市テニスコート ……………	9
4	相撲場 ……………	9

5	高砂市総合体育館	9
6	サブグラウンド	9
第6章	今後の取り組み内容と方向性	10
1	高砂市陸上競技場	10
2	高砂市野球場	10
3	高砂市テニスコート	10
4	相撲場	11
5	高砂市総合体育館	11
6	サブグラウンド	11
7	室内プール（案）	11

第1章 総合運動公園スポーツ施設のあり方について

1 背景と目的

人口減少、少子・高齢化の進行、子どもたちの運動する時間の減少による体力・運動能力の低下や高齢者世代の健康志向・健康増進といったライフスタイルの変化や社会環境が多様化する中で、スポーツニーズは大きく変化しています。また、一方で高度経済成長期に整備されてきた公共施設等は、老朽化などに伴う施設の改修や更新、長寿命化が大きな社会問題となっています。

本市の多くのスポーツ施設においても老朽化等により施設の建替や大規模改修などの更新が必要な状況となっています。今後の施設整備に当たっては、必要性、緊急度等を勘案し、計画的に整備を進めていくとともに、民間活力の導入、広域利用の研究も必要と考えます。

このような背景の中、本市においては、「スポーツ基本法」に基づき策定した「高砂市スポーツ推進計画」の基本目標のひとつに、「スポーツ環境の充実」を掲げ「スポーツ施設の整備及び有効利用」を基本施策として位置付け、老朽化した施設・整備の計画的な改修を行うなど、市民へ安心・安全なスポーツ環境を持続的に提供できるよう施設の整備に努めています。

今後のスポーツ施設のあり方については、令和3（2021）年に策定された高砂市公共施設全体最適化計画の方針をもとに、市民の多様なニーズや部活動の地域移行、学校水泳の民間委託などの社会情勢に配慮し、次に示す基本的な考え方を踏まえ、総合運動公園スポーツ施設の整備に関する方向性を示すものです。

2 基本的な考え方

(1) 誰もが気軽にスポーツに親しむことができる場の提供

市民が日常的に気軽にスポーツに取り組むことができる身近な施設であることはもちろんのこと、スポーツ推進計画の基本理念である「すべての市民が生涯にわたってスポーツを楽しむまち高砂」に向けた施設整備を進めます。

(2) 多様化するスポーツへの対応

多様化するニーズや種目など移り変わる流行に対応できるよう、施設ごとの利用者の属性や要望等を的確に把握し、利用者ニーズに応じた施設整備を進めます。

また、施設の機能には、複数の競技が楽しめることや、スポーツ以外も利用できるよう多様性を持たせるとともに、交流人口・関係人口を増やす場となるような施設整備を進めます。

(3) 安心・安全なスポーツ施設の提供

ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、持続的に誰もが安全・安心にスポーツに親しむことができる施設整備を進めます。

第2章 総合運動公園スポーツ施設の現状

1 高砂市陸上競技場

施設名称：高砂市陸上競技場

竣工年：昭和46（1971）年

規模(㎡)：35,000（総面積）

構造：鉄筋コンクリート造 地上2階建て（メインスタンド）

競技：陸上競技のほかグラウンドゴルフ、ラグビーや関西サッカーリーグの試合

その他：当初は、第2種公認陸上競技場として整備されたが、現在は、公認取得を行わ

ず、陸上競技以外の多様なスポーツやレクリエーションの楽しめる施設として市民に親しまれ、年間約1万8千人が利用しています。陸上競技に特化してみれば、「練習やトレーニングの場」として利用されており、陸上競技の普及及び技術の向上に寄与しています。

2 高砂市野球場

施設名称：高砂市野球場

竣工年：昭和47（1972）年

規模(m²)：21,989(総面積)

建物構造：鉄筋コンクリート造 地上2階建て（メインスタンド）

競技：少年野球、中学校軟式野球、高校野球、社会人野球、アマチュア野球公式戦

その他：過去には、プロ野球オープン戦や全国高等学校軟式野球選手権大会が開催され、平成18（2006）年には国民体育大会高等学校硬式野球大会が開催されるなど歴史ある球場であり、現在も全国高等学校野球選手権大会兵庫大会の会場に指定され、年間で約1万7千人が利用する地域の重要な施設となっています。

3 高砂市テニスコート

施設名称：高砂市テニスコート

竣工年：昭和53（1978）年

規模(m²)：3,181

構造：全天候型人工芝コート（4面）、壁打ち練習コート（1面）

競技：テニス

その他：4面のコートと壁打ちコートを保有しており、大会や練習の場として、小・中学生から高齢者まで幅広い年齢層に利用され、年間3万人を超える利用があります。施設整備に関しては、人工芝の摩耗に伴い平成23（2011）年にコート2面、平成27（2015）年に残り2面の人工芝張替工事を行い、維持管理に努めています。

4 相撲場

施設名称：相撲場

竣工年：昭和53（1978）年

規模(m²)：99.8

構造：屋根付屋外相撲場（土俵1面）

競技：相撲

その他：平成27（2015）年に、屋根等を改修

5 高砂市総合体育館

施設名称：高砂市総合体育館

竣工年：平成元（1989）年

延床面積(m²)：8,473.16

建物構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階建て

競技：バレーボール、バドミントン、卓球、バスケットボール、フットサル、新体操、ダンス、剣道、柔道、空手道など屋内競技スポーツやニュースポーツ・レクリエーション

その他：年間約16万人が利用する施設であり、各種スポーツ競技団体の活動の場として、兵庫県高等学校総合体育大会兵庫県大会（柔道）や兵庫県高等学校新人剣道大会、近畿地区高等専門学校体育大会（バドミントン・柔道）等も開催され、高砂市のスポーツ振興の拠点として、多くの市民に親しまれています。また、災害発生時の指定避難施設に指定されています。

6 サブグラウンド

施設名称：サブグラウンド

竣工年：平成4（1992）年

規模(㎡)：10,500

構造：クレーグラウンド

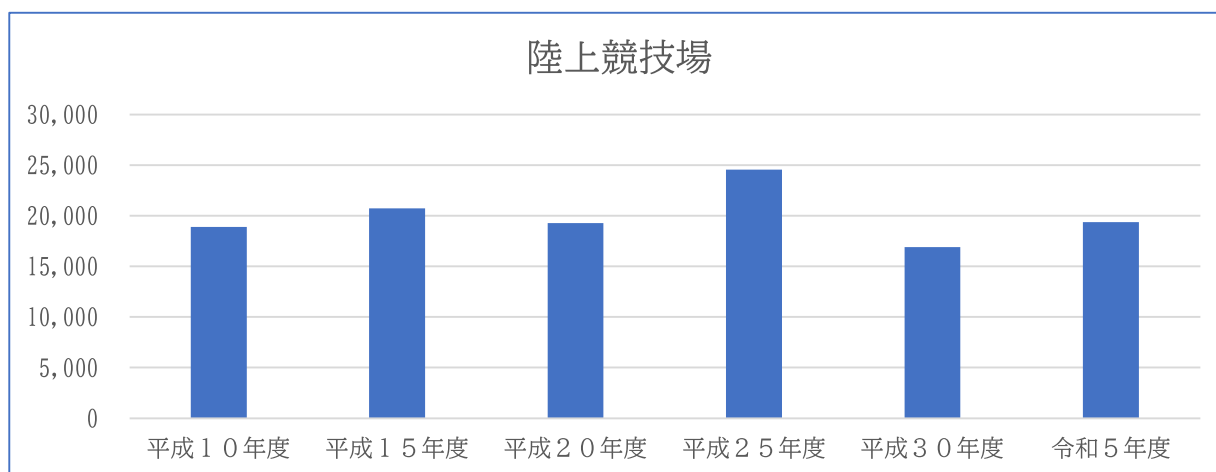
競技：少年野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフなど

その他：当初は、陸上競技場の公認取得のためのサブトラックを兼ねた多目的広場として整備されたが、現在は、無料で誰もが気軽に利用できるグラウンドとして多くの方に親しまれています。また、総合運動公園内で開催される大会等の臨時駐車場として活用するなど多機能的な役割を有しています。また、災害時の指定緊急避難場所に指定されています。

第3章 総合運動公園スポーツ施設の利用状況の推移

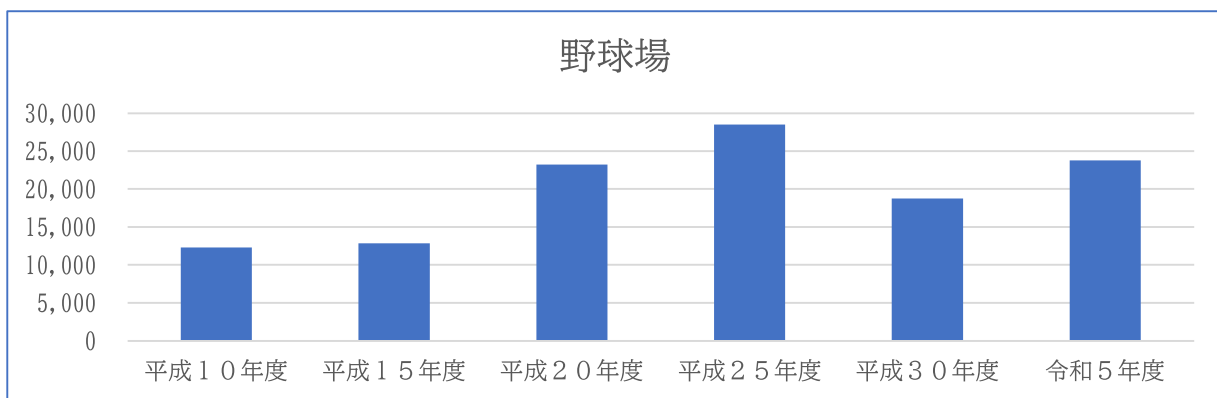
■陸上競技場

年度	平成10年度 (1998)	平成15年度 (2003)	平成20年度 (2008)	平成25年度 (2013)	平成30年度 (2018)	令和5年度 (2023)
人数	18,883	20,723	19,256	24,549	16,885	19,354



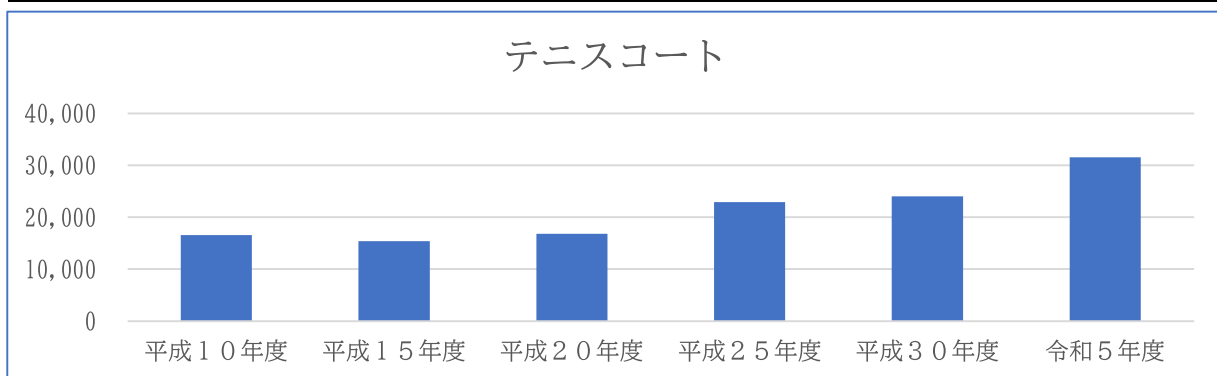
■野球場

年度	平成 10 年度 (1998)	平成 15 年度 (2003)	平成 20 年度 (2008)	平成 25 年度 (2013)	平成 30 年度 (2018)	令和 5 年度 (2023)
人数	12,266	12,845	23,192	28,476	18,729	23,755



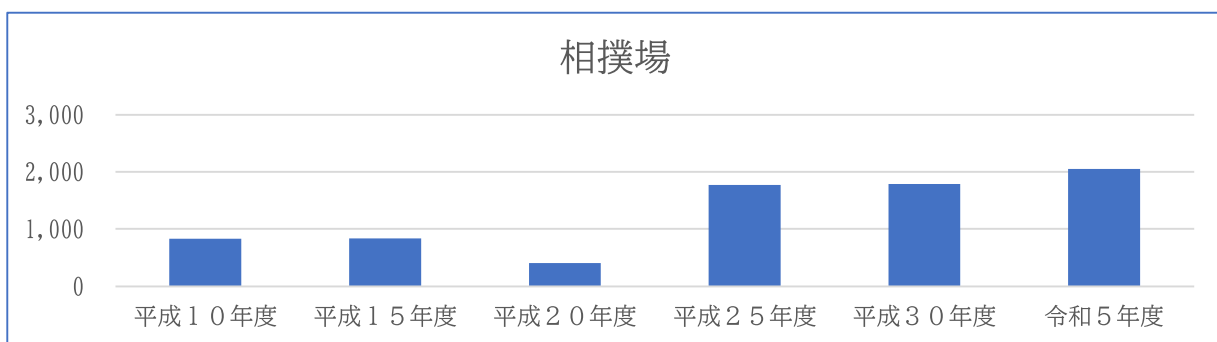
■テニスコート

年度	平成 10 年度 (1998)	平成 15 年度 (2003)	平成 20 年度 (2008)	平成 25 年度 (2013)	平成 30 年度 (2018)	令和 5 年度 (2023)
人数	16,544	15,364	16,804	22,886	24,006	31,534



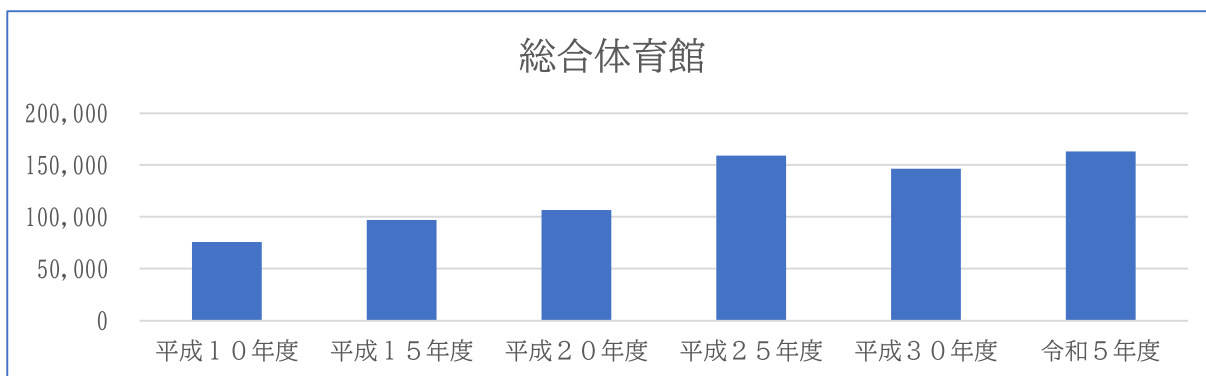
■相撲場

年度	平成 10 年度 (1998)	平成 15 年度 (2003)	平成 20 年度 (2008)	平成 25 年度 (2013)	平成 30 年度 (2018)	令和 5 年度 (2023)
人数	830	835	402	1,767	1,784	2,050



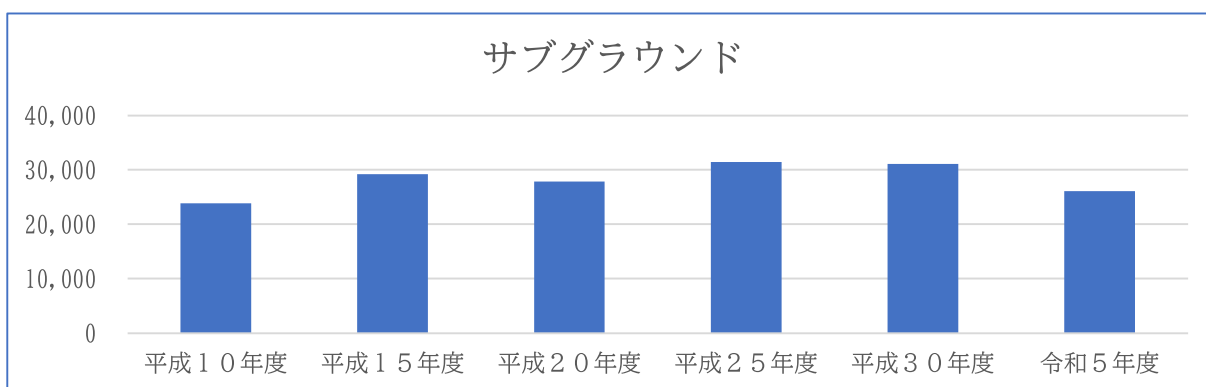
■総合体育館

年度	平成 10 年度 (1998)	平成 15 年度 (2003)	平成 20 年度 (2008)	平成 25 年度 (2013)	平成 30 年度 (2018)	令和 5 年度 (2023)
人数	75,691	96,964	106,539	159,107	146,408	162,966



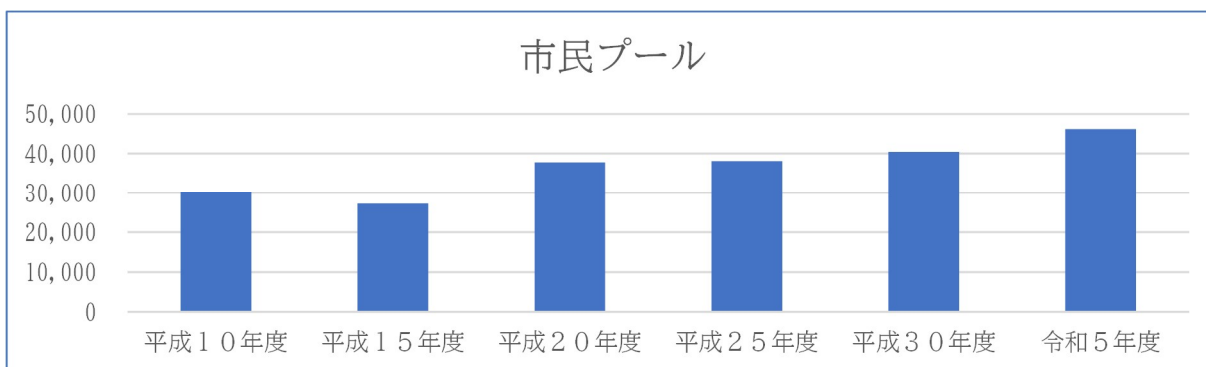
■サブグラウンド

年度	平成 10 年度 (1998)	平成 15 年度 (2003)	平成 20 年度 (2008)	平成 25 年度 (2013)	平成 30 年度 (2018)	令和 5 年度 (2023)
人数	23,863	29,186	27,808	31,422	31,064	26,059



■（参考）市民プール

年度	平成 10 年度 (1998)	平成 15 年度 (2003)	平成 20 年度 (2008)	平成 25 年度 (2013)	平成 30 年度 (2018)	令和 5 年度 (2023)
人数	30,084	27,200	37,786	38,072	40,430	46,177



第4章 総合運動公園スポーツ施設の運営状況

高砂市では、多様化する市民ニーズに効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上、経費の削減を目的に指定管理者制度を導入しています。

総合運動公園内スポーツ施設は、平成18年度から指定管理者による運営を行い、自主事業による各種スポーツ教室の充実、営業時間の延長、開館日を増やす取り組みなど、多様な市民ニーズに対応した取り組みを行っています。

第5章 総合運動公園スポーツ施設の課題

1 高砂市陸上競技場

建築から52年が経過し、老朽化が進んでいるため、高砂市公共施設保全計画において、施設の延命が困難と判断しており、長寿命化（80年）は不可と位置づけております。

また、機能面に関してもフィールドへ向かう通路は、大きな段差があり、高齢者や障がい者の方への利用に支障があり、バリアフリー化を行う必要があります。これらの状況により、早期の対策が必要となっています。

2 高砂市野球場

建築から51年が経過し、老朽化が進んでいるため、高砂市公共施設保全計画において、施設の延命が困難と判断しており、長寿命化（80年）は不可と位置づけております。

また、スコアボード内部での手書き作業等による熱中症の心配、経年劣化による雨漏り、フェンスラバー・ダッグアウトの劣化、バリアフリー化の未整備、集中豪雨による排水不良など多くの課題があり、早期に対策が必要となっています。

3 高砂市テニスコート

年間3万人の多くの方が利用することから、定期的な人工芝のメンテナンスや張替えが必要となっています。人工芝張替えは、一般的には7年から10年と言われており、計画的に張り替える必要があります。

4 相撲場

効率的、効果的な施設整備を図りながら、利用者を増やす取り組みを検討する必要があります。

5 高砂市総合体育館

建築から34年が経過し、施設全体の老朽化が進み、雨漏りや水漏れ、機械設備等の機能劣化がみられます。高砂市公共施設保全計画では、長寿命化が可能な施設に位置づけており、施設に必要な機能を保持するために、長寿命化のための改修工事を計画的に進めていく必要があります。

6 サブグラウンド

陸上競技場のサブトラックとして整備されたが、現在は、少年野球、ソフトボール、サッカーなどの球技等で多くの方に利用されており、既存のフェンスが低いため、防球ネットなどの安全対策が必要となっています。

第6章 今後の取り組み内容と方向性

各施設の今後については、施設の現状、課題、高砂市スポーツ推進計画、高砂市公共施設全体最適化計画を踏まえ、各施設の方向性を整理し、安心・安全な施設整備を進めてまいります。また、広域利用については、多くの方が、身近な場所でのスポーツ活動を求めていることから、普段のスポーツ活動は市内のスポーツ施設を活用し、陸上競技の記録会や全国高等学校野球選手権大会兵庫大会などの大規模大会では近隣市のスポーツ施設と連携し、それぞれの機能を活かした広域的な利用を進めながら、今後の人口減少時代に向けて、本市のスポーツ施設の最適な方向性を研究してまいります。

1 高砂市陸上競技場

老朽化への対応として、令和18（2036）年までに、建物部分（スタンド等）を撤去し、陸上競技に加え、ジョギング、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、アーバンスポーツなど、多様なスポーツを誰もが気軽に親しめる多目的施設としての活用を推進していきます。

2 高砂市野球場

老朽化への対応として、令和18（2036）年までに、PPP手法並びに建替手法を研究するとともに、延べ床面積30%縮減を目標に、現在行われている高校野球の公式大会が開催できる規模を前提とし、幅広い野球場の利活用も含め、施設整備を推進していきます。ただし、安全面・機能面で問題のある手書きスコアボードや更衣室等の雨漏り等については、喫緊の課題であり、早急に対応していきます。

3 高砂市テニスコート

人工芝の適切な維持・補修等を行い、現施設を維持していきます。

4 相撲場

平成27年度に大規模な改修を行っていることから現施設を維持していきます。

5 高砂市総合体育館

現状の施設を維持し、令和8（2026）年度までに保全計画における40年目修繕を計画し、長寿命化を図るとともに、劣化の進んでいる設備等については随時更新していきます。

6 サブグラウンド

多目的グラウンドとして防球ネット等の整備を検討するとともに、無料公園施設から有料スポーツ施設としての運用を検討していきます。

7 室内プール（案）

市民プールの廃止による水泳機能の代替として、こどもから高齢者まで、市民が1年中、安心して水に親しめ、泳ぐことができる室内プールを検討していきます。

室内プールの建設・運営手法については、市民の健康や体力づくり、スポーツ振興が図られ、多様な利用ニーズにも柔軟に対応できるよう事業主体を検討していきます。また、建設場所については、市民が利用しやすい環境を考慮し、総合運動公園内での整備も含め検討していきます。

このあり方で示す各施設の方向性については、財政状況、利用者動向などによる変更が必要になった場合は、その都度見直しを行い、安心・安全な施設整備を進めるとともに、「すべての市民が生涯にわたってスポーツを楽しめるまち高砂」の実現に向け推進してまいります。

高砂市総合運動公園スポーツ施設の整備に関する方向性
令和6年9月

健康こども部健康文化室文化スポーツ課